

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-3  
高齢者福祉の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 高齢者福祉課長 安食 治外 電話番号 0852-22-5236

事務事業の名称	軽費老人ホーム運営事業	
目的	(1) 対象	居宅での生活が困難な高齢者
	(2) 意図	入所施設等を適切に提供する。
事業概要	軽費老人ホームの入所者の処遇にかかる費用の一部を負担する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	軽費老人ホームの入所者に対する低所得者の割合（補助対象）	目標値		82.0	83.0	84.0	85.0	%
	式・定義	年間収入180万円以下の入所者数/入所者総数	取組目標値						
			実績値	81.3	81.3	81.9			
			達成率	-	99.2	98.7	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	478,645	326,302
うち一般財源 (千円)	475,142	326,302

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成29年度 軽費老人ホーム（ケアハウス）計17施設  
 年内収入180万円以下の入所者8,390人/入所者総数10,249人（年間延べ）（81.9%）  
 施設入居率 H26年：84.5% H27年：77.5% H28年：78.3% H29年：85.4%

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

軽費老人ホームの入所者総数のうち、年間収入180万円以下の入所者が占める割合は、H29年度は81.9%と、前年度（81.3%）に比べて微増となった。  
 また、入居率は85.4%となり、前年（78.3%）に比べて7.1ポイントの増加となっており、低所得者に対する入所施設の提供という目的が理解されつつある。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

入居率が低い施設がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

住民に対する周知不足

### ③原因を解消するための「課題」

周知方法

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

介護を要しない低所得高齢者の住まいとして、軽費老人ホームの果たす役割は重要と考えられることから、市町村と連携して軽費老人ホームの周知を図っていく。